

広島県医師会

第102回定例代議員会・第50回医師共済会総代会・第72回定例総会 平成22年度事業計画・予算(案)等を承認

第4期 碓井静照執行部 「凜として、さらに開かれた医師会を目指す！」



広島県医師会は、3月7日(日)午前10時から広島医師会館2階講堂において、標記代議員会等を開催した。

なお、代議員会に先立ち、医療功労に対する県知事表彰が行われ、湯崎英彦広島県知事より5氏が表彰の栄誉に浴した。さらに、総会席上では、広島県医師会長表彰3名、役員・代議員勤続20年1名、役員・代議員勤続10年1名、代議員勤続10年4名、県内開業50年8名、叙勲・褒章受章者4名に、碓井静照会長より表彰状と記念品が贈呈された。

開会・県知事表彰

定刻10時、松村誠常任理事から受付にて出席確認をしたところ、定員141名中出席者139名の出席を確認、代議員会の成立を宣言した。

続いて、広島県知事表彰に移り、永年地域の保健医療活動に従事し、本県の保健・医療・福祉の発展に多大な貢献をされた5氏に対し、湯崎英彦県知事が表彰状を授与し感謝の意を表し

た（「会員の栄誉」を参照）。被表彰者を代表して徳永彰氏が県知事に対して謝辞を述べた。



湯崎 英彦
広島県知事

湯崎英彦県知事からは、「ただ今表彰を受賞された先生方には、長年にわたって地域において医療に専念されるとともに、県医師会、地元医師会役員として地域医療の充実に大変なご尽力いただき、改めて功労に対し深く敬意と

感謝の意を表する。日本一安心できる医療サービスの実現を目指している本県にとって、皆様の献身的な活動は、人々の健康と安心を支えるとともに、医療を志す方々にとって大きな励みとなる。本日受賞の皆様方には、今日を節目とされ、これからも健康には留意され、一層のご活躍をお願い申し上げます。

終わりに広島県医師会の今後のますますのご発展と、本日ご参集の皆様の方ご健勝そしてご活躍を祈念申し上げ挨拶とさせていただきます」との挨拶があった。

議事に先立ち、仮議長の上綱誠光代議員より吉川正哉、山中祐介代議員を議事録署名者として指名、福永泰州議長のもと本会議に移った。昨年3月の代議員会以降に逝去された物故会員59名に、出席者一同黙祷を捧げ、冥福を祈った。

基調挨拶

続いて、碓井静照会長が基調挨拶（後掲）

会務報告

その後、平成21年度の会務報告に移り、檜谷義美副会長が一括報告、一部質疑応答があり、午後0時30分に午前の部が終了した。

質疑応答

午前の会務報告終了後、昼食休憩、午後1時30分より午後の部が細木宣男副議長により再開された。会長挨拶および会務報告に関連した19間に及ぶ質疑や要望等が提出され、それぞれ理事者から答弁が行われた（後頁に質問事項を掲載、詳細は後日の特集号に掲載）。

議案審議

第1号議案 平成21年度一般会計歳入歳出予算補正の件

島筒志郎常任理事が提案理由を説明、異議なく承認された。

第2号議案 平成21年度医療事故特別会計収支予算補正の件

島筒志郎常任理事が提案理由を説明、異議なく承認された。

ここで議長席を交代、再び福永議長が任につき、

第3号議案 会長選挙に関する件

去る2月25日に任期満了に伴う会長選の立候補届を締め切り、推薦による候補者が碓井静照君1名であったとして承認を求めたところ、全員挙手で、

会長 碓井静照君（広島市）を決定した。

第4号議案 副会長及び理事選出の件

碓井会長から多忙化する常任理事の業務軽減を図るため、常任理事を1名増員した計22名の推薦候補者が発表され、承認された。

また、前県医師会長の真田幸三氏の顧問推薦も承認された。

第5号議案 監事選出の件

第6号議案 裁定委員選出の件

いずれも5名の選考委員に選出を一任、森岡栄監事選考委員長、松原進裁定委員選考委員長の発表のとおり承認された。

第7号議案 日本医師会代議員及び同予備代議員選出の件

会長一任、氏名が発表され、選出された。

この時、横山行男代議員から「緊急動議」が発せられ、今限りで退任する次の2名の役員に対し、福永議長が全代議員を代表して謝意を表し、その労をねぎらった。

望月 昭氏

平川十春氏

第8号議案 平成22年度事業計画の件

高杉敬久副会長が提案のとおり可決承認された。

第9号議案 平成22年度一般会計歳入歳出予算の件

島筒志郎常任理事の提案のとおり可決承認された。

第10号議案 平成22年度医療事故特別会計収支予算の件

島筒志郎常任理事の提案のとおり可決承認され代議員会は終了した。

第50回医師共済会総代会

午後3時30分、定例代議員会に引き続き開催された。

碓井会長が議長を務め、事業報告ならびに平成21年度収支中間報告を島筒常任理事に求め、同常任理事の報告に対し質疑等なく議事に入った。

第1号議案 平成20年度収支決算の件

第2号議案 平成22年度収支予算の件

理事者の提案のとおり可決承認され総代会

は終了した。

第72回定例総会

午後4時、医師共済会総代会に続き開催された。碓井会長は、会長挨拶、会務報告は今朝来の代議員会で済ませているとし、割愛する旨議場に語り、賛成多数で議案審議に移った。

第1号から第5号議案までの予算補正、事業計画、予算等が一括上程され、これらの議案もすでに承認済みとして審議を省略、可決された。

次に表彰式に移り、広島県医師会長表彰4名、役員・代議員勤続10年1名、役員・代議員勤続20年1名、代議員勤続10年4名、県内開業50年8名、叙勲・褒章受章者4名に、碓井会長より表彰状と記念品が贈呈された。

第102回定例代議員会質問事項

- 1 日本医師会への県医師会の対応について
長尾史博(安佐)
- 2 日本医師会の有り様、日本医師会長選挙について
明海国賢(広島市)
- 3 広島県医師会への勤務医の十分な参画を
日高 徹(安佐)
- 4 医師会会員の種別、体制について
白川敏夫(安芸地区)
- 5 広島県地域医療再生計画について
医療情報ネットワークの一元化について
県地域医療総合支援センター整備、高精度放射線治療センター設置の件
中井志郎(広島市)
- 6 広島県医師会の資産運用について
中川 隆(安佐)
- 7 資産運用について
山本 匡(広島市)
- 8 平成22年度の地域産業保健センターの業務について
吉川正哉(安佐)
- 9 新型インフルエンザワクチンについて
篠原秀久(広島市)
- 10 学校における検診の標準化について
渡辺弘司(呉市)
- 11 新規開業(個別指導)について
大久保雅通(広島市)
- 12 県医師会速報・レセプトオンラインについて
藤井義昭(広島市)

- 13 県北の救急医療について
村田裕彦(安佐)
- 14 児童虐待防止に関する教育・啓発活動について
長尾正崇(広島大学)
- 15 代議員数の増員について
大倉美知男(三次地区)
- 16 各医師会の代議員数の見直しについて
杉原基弘(竹原地区)
- 17 広島県東部地区医療政策会議の提言書について
八田和彦(安芸地区)
- 18 会員数の少ない地区医師会と勤務医に配慮した代議員選出方法の見直しについて
片山 壽(尾道市)
- 19 医師に対する不当なバッシングに対する日本医師会の具体的な対策について
河野修興(広島大学医学部)

基調挨拶



碓井 静照
広島県医師会長

皆様、おはようございます。本日は日曜日にもかかわらず朝早くより、第102回定例代議員会、第50回定例総会、第72回医師共済会総代会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

先週には、南北アメリカで大変大きな出来事がありました。一つは、チリ巨大地震では大変な被害が報道されています。幸いわが国には、津波の影響が少なく安心したところでした。もう一つは、バンクーバーオリンピックです。各競技で熱戦が繰り広げられ、感動を与えてくれました。表彰台に立つ選手たちのすがすがしい姿が印象的でした。

先程、湯崎英彦広島県知事にご臨席いただきまして、医療功労者に対する県知事表彰が執り行われました。表彰を受けられました先生方の笑顔に、長年の地域医療に尽くされたすがすがしさを感じた次第です。誠におめでとうございます。心からお喜びとお祝いを申し上げます。今後とも、ますますご健勝にてご活躍くださいますようお願い申し上げます。

さて、私ども執行部は、お陰をもちまして、今年度で3期6年間、県医師会の舵取りを務めさせていただきました。この間、代議員の先生方には、本会の会務諸事業に対し、格別のご支援、ご協力を賜り、改めて御礼を申し上げます。また、昨年には、政権交代が実現し、民主党

新政権の下、平成22年度の診療報酬改定がなされました。今回の改定率について、医療関係者は「平成22年の診療報酬改定では、診療報酬全体で0.19%、本体1.55%、医科本体では1.74%引き上げられることになり、診療報酬全体のプラス改定は、平成12年以来であり、医療費抑制政策が転換されつつある」と一定の評価はしています。

しかし、0.19%という「小幅な」改定であり、決して医療現場に希望を与える水準ではありません。新政権に期待を寄せてきた全国の医師、医療現場は、さらなるアップを希望するものです。特に再診料の一本化の中での診療所再診料の減額は、地域医療を支える診療所に対する軽視だと思えます。

医療崩壊を食い止め、医療の再生を目指すには、現在の医療費水準では難しいと考えます。政府・与党は、医療費の財源確保の道筋を国民に示してほしいものです。

今後とも、県民の生命と健康を守るために、医療崩壊を阻止するために、広島県医師会は、全力で取り組んでいきたいと考えております。

さて、新政権は、療養病床転換推進計画の凍結、後期高齢者医療制度の廃止、レセプトオンライン義務化の撤廃などを打ち出しており、なかでもいろいろ問題があり国民の反発が強かった後期高齢者医療制度は、廃止する方針としています。このことについては歓迎していますが、長妻昭厚生労働相が、新たな中医協診療側委員に、報復人事とも思える医師の代表である3名の日本医師会役員を排除したことは誠に遺憾であります。

これに関係して、日本医師会に対して地方の医師会からは、先の衆議院議員総選挙での自民党の大敗、民主党の政権交代を見抜けなかったこと、医師の6割が民主党に投票し会員の声を聞いていなかったとして、批判が高まっております。自民党支持に執着しすぎた反省から、自民党一辺倒の政治対応は改めましたが、来る4月1日に行われます日本医師会会長選挙には、自民党を推してきた現執行部の唐澤会長、民主党を推した茨城県医師会長の原中先生、そしてその中間派の京都府医師会長の森先生が立候補し三つ巴の戦いの様相を呈してまいりました。

いずれの結果になるにしても、今こそ医師会員全員が一致団結して、いまの危機的状況にある医療を再生するために、具体的政策を政府と国民に対し、その政策を実現することこそが、われわれ職能団体の使命だと思っています。

また、昨年以前政権の経済危機対策としての、総額3,100億円の「地域医療再生基金」は、平成21年度の補正予算の見直しで、当初全国で10本予定されていた100億円のプランがなくなり、各県とも25億円プランが2本という形になりました。広島県の地域医療再生計画は、本県の医療が抱える諸課題の解決に向けての第1歩として、着実に実施される必要があります。

特に、県医師会が提案している「地域医療総合支援センター(仮称)」は、本県の医療、保健、福祉を支える拠点施設としてぜひとも必要な施設であり、今後は会員の皆様のご意見を伺いながら、その実現に向けて最善の努力をまいります。来年度の最重要課題の一つとの認識をしております。

そのためには、来年度早々に検討委員会を会内に設置し、十分な議論をいただいたうえで、本年の秋までには臨時代議員会を開催し、予算をはじめ場所の設定、建物の設計など具体的な計画を提示し、皆様にお諮りをしたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

また、広島県医師会の役員選任についてありますが、常任理事、理事、監事、そして日医代議員は、従来より地域性も考慮したうえで、その時々各種要件を踏まえ、人選の提案をさせていただきます。本会定款13条3項では「理事のうちから若干名を常任理事とする」と規定されており、具体的人数は明記されていませんが、慣例により理事のうち13名の方に常任理事をお願いしておりました。しかし、複雑多様化する医療情勢に的確に対応するとともに、多忙化する常任理事の激務軽減を図るため、このたび常任理事を1名増員し、14名にさせていただきます。本日はご理解を賜りたいと存じます。

また、ご心配をおかけしております、シンセティックCDOの10億円の債券の資産運用状況ですが、一昨年秋のリーマンショックに端を発した世界的不況により、大きく元本割れをきたしました。メリルリンチとの契約説明内容、特に格付けがトリプルAであるとの説明は事実と反するなどの問題があり、契約無効の訴訟を提起しましたことは前回の代議員会でご説明いたしましたところですが、現在も係争中ですが、このCDOの評価額がその後84.40%まで回復しております。今年の9月には満期を迎える予定です。まだまだ予断は許さないところですが、裁判所よりは和解の話も出ており、引き続き専門家と

も慎重に検討しているところです。

私ども広島県医師会は、これからも凛とした医師会、県民、会員に開かれた医師会、行動する医師会であるとの理念の元、地区医師会のご意見・ご意向を率直にお聞きして、本会会務に

反映させてまいりたいと思っております。

本日は、どうぞ忌憚のないご意見をいただきたいと思います。これをもちまして私からのご挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

広島県医師会の新役員等

(敬称略、*は新任)

- 【会 長】 碓井 静照
- 【副 会 長】 高杉 敬久 檜谷 義美
- 【常任理事】 長崎孝太郎* 平川 勝洋 新本 稔 平松 恵一 柳田 実郎
- 松村 誠 島筒 志郎 井之川廣江 堀江 正憲 天野 國幹
- 有田 健一 榎坪 毅 温泉川梅代 荒木 康之
- 【理 事】 佐々木正博 澤崎 晉一 長 健 菅田 巖 星田 昌吾
- 松本 春樹*
- 【監 事】 福永 晶 兼山 敦 坂野 堯
- 【代議員会議長】
- 福永 泰州
- 【代議員会副議長】
- 細木 宣男
- 【日本医師会代議員】
- 碓井 静照 福永 泰州 長崎孝太郎* 片山 壽 豊田 秀三
- 森近 茂* 伊藤 仁* 高杉 敬久 檜谷 義美 平川 勝洋
- 松村 誠
- 【同予備代議員】
- 島筒 志郎 新本 稔 佐々木正博 星田 昌吾 菅田 巖
- 澤崎 晉一 長 健 弓場 通正 戸谷 完二* 松本 春樹*
- 中林 昭策*

税務相談室・融資相談室のご案内

本会の福祉活動の一環として、「税務相談室」及び、「融資相談室」を開設しております。無料ですのご遠慮なくご利用ください。

記

『税務相談室』

※医業税務、一人医療法人等について

と き 平成22年4月1日(木)、8日(木)、15日(木)
午後2時～午後5時(1人1時間程度)

ところ 広島医師会館内 5階会議室

担当者 中国税理士会 広島県支部派遣税理士
米今 喜作 清水 弘司

『融資相談室』

※新規開業、事業拡張、事業承継等について

と き 平成22年4月15日(木)
午後2時～午後5時(1人1時間程度)

ところ 広島医師会館内 5階会議室

担当者 金融機関 金融サービス(医療専門
チーム)担当者

予約申込先 〒733-8540 広島市西区観音本町1-1-1
広島県医師会経理課 TEL082-232-7211

第8号議案

平成22年度広島県医師会事業計画（案）

2010（平成22）年は、21世紀に入ってから10年目の節目の年である。昨年、世界的にも、極めて大きな変化の年であった。

アメリカのバラク・オバマ大統領の就任は、世界に大きな変化を感じさせるものであり、氏の核兵器廃絶に向けた発言は、われわれに期待を持たせるものであった。しかしながら、リーマンショックに端を発する世界経済不況の及ぼした悪影響や、新型インフルエンザ感染拡大の猛威は、われわれに大きな課題を投げかけている。

わが国においても、昨年は、民主党が自民党に圧勝し、本格的な政権交代がなされた転換点の年であった。鳩山由紀夫内閣の発足と政権公約（マニフェスト）の実行、前政権の予算案の撤回と「コンクリートから人へ」の新予算案の編成、官僚政治脱却を標榜する「政治主導」への転換も、世の中の大きな変化を感じさせるものであった。しかし、新政権が実際にどれだけマニフェストに掲げられた国民の命と健康を守る政策を具体的に進めていくのかを、私たち国民は十分に注視しておかねばならない。

確かに新政権は、行き過ぎた市場原理主義に基づき実施し続けられた社会保障費の機械的削減による医療費抑制政策を転換し、診療報酬の微増を実現した。これが今後、産科・小児科・救急医療の充実、病院勤務医の過重労働緩和策に展開されるなら、厳しい医療環境、地域医療体制の疲弊の危機的状況からの改善も期待できるかもしれない。われわれが指摘した後期高齢者医療制度の廃止および療養病床削減の凍結等が打ち出されたことは高く評価している。

しかし、新政権による「地域医療再生計画事

業」の見直しにより、従来から計画していた「広島県地域医療再生計画」は大きく縮小せざるを得なくなった。その中で最重要課題として本会が提案した、「広島県地域医療総合支援センター（仮称）」整備構想については、関係諸機関との調整と財政的支援を、湯崎英彦県知事に要望するとともに、林正夫県議会議長に請願して理解を求めたところである。本構想の実現へ向けての取り組みは本年度の最重要事項であると認識している。

人類史上最初の原爆被爆県である広島県の医師として、担うべき最大の任務は、核兵器の廃絶への取り組みである。核戦争防止国際医師会議（IPPNW）は、世界大会や南北アジア地域会議を開催し、全人類共通の核兵器廃絶、核戦争防止を強く訴え、1985（昭和60）年にノーベル平和賞を授与されている。

オバマ米大統領が昨年ノーベル平和賞を授賞された理由は、「核兵器なき世界の実現」に向けた構想と努力への期待であり、国際社会の核兵器廃絶への気運に後押しされたがためである。

本会は米国・カナダ・ブラジルの計6医師会と姉妹縁組を締結、在外被爆者健診を実施、さらに北朝鮮とも関係を構築している。また、放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）に参画し、放射線被曝医療に関して、世界への貢献と国際協力の推進に寄与している。

本会の会員各位が日常診療の中で、被爆者の治療や福祉に熱意を持って取り組み、世界平和を希求することは、われわれの最大の使命と考えている。

以上、本年度の当会が直面する重要課題と主要事業につき概説したが、以下、重要項目を列記する。

1. 医の倫理高揚

1. 医療人として当然有すべき倫理の再認識と実践
2. 地区医師会・関係医会・関係委員会との連携による自浄作用活性化対策の推進
3. 再生医療、遺伝子治療、臓器移植など先端医療に関する倫理研究と協議

2. 医学医術の振興

1. 医学研修
 - ① 生涯教育の実践
 - ② 学術講演会ならびに各分科会研修会の推進
 - ③ 日医生涯教育講座・協力講座の推進
2. 広島医学会
 - ① 広島医学会総会の充実
 - ② 『広島医学』の発刊と充実
3. 中国四国医師会連合医学会への参画
4. 腫瘍登録事業ならびに広島県地域がん登録事業の推進
5. 医師卒後臨床研修制度への主体的参画
6. 諸学会ならびに地区医師会学術活動に対する援助、助成

3. 医政推進

1. 中国四国医師会連合総会への参画
2. 診療報酬と医業税制の適正化推進
3. 医師連盟活動の推進

4. 社会保障活動

1. 医療保険制度改革への対応
 - ① 後期高齢者医療制度
 - ② 保健医療計画
 - ③ 医療費適正化計画
2. 介護保険制度への対応
 - ① 地域ケア整備構想(療養病床再編問題含む)
 - ② 介護保険事業支援計画
 - ③ 認知症対策
3. 診療報酬と介護報酬改定への対応
4. 適正医療の推進
5. 各種保険者団体等との連携
6. 審査委員会への支援と連携強化
7. 医療機関保険請求事務担当者の養成
8. 会員への診療報酬請求情報の提供
9. 損害保険医療協議会の推進
10. 労災補償関係団体との連携
11. 労災・自賠責関係情報の会員への提供

5. 勤務医・女性医師活動の推進

1. 勤務医の過重労働ならびに医師不足問題への取り組み

2. 女性医師の就労支援・環境の整備
3. 勤務医、女性医師の医師会活動への積極的参画の推進

6. 保健・医療・福祉活動の推進と有機的連携

1. 広島県地域保健対策協議会事業の推進と充実
2. 広島県地域医療総合支援センター(仮)構想の推進
3. 県および市町保健衛生行政機関・圏域地域保健対策協議会と市郡地区医師会との連携支援
4. 広島県病院協会との連携
5. 「健康ひろしま21」の推進
6. 老人保健福祉計画の推進
7. 精神保健福祉対策の推進
8. がん予防対策の推進
9. がん診療体制の確立と充実
 - ① がん診療における医療連携、地域連携の推進
 - ② 緩和医療の実践と体制の充実
 - ③ がん登録に関与する医療人の育成と組織化
10. 救急医療体制の推進、メディカルコントロール体制への協力
11. 災害医療救護体制の推進
12. 小児医療の推進と小児救急医療体制の整備
13. 母子保健対策の推進
14. 難病対策の推進
15. 移植医療の推進
16. 病診・病病連携の促進強化
17. 在宅医療の推進
18. 医師会立共同利用施設の連携強化
19. 県民の健康教育の推進
20. 産業保健、地域産業保健センター活動の推進
21. 産業性疾患対策の推進と情報共有
 - ① メンタルヘルスケア
 - ② アスベストなど
22. 警察行政との連携強化
23. 教育行政との連携強化
24. 被爆医療関連施設の連携
25. 特定健診、特定保健指導の支援
26. ひろしまドクターネット登録事業への協力

7. 公衆衛生活動の推進

1. 感染症予防対策の推進
 - ① 新型インフルエンザ対策への取り組み
2. エイズ対策の推進
3. 禁煙を含む健康づくりの推進

4. 環境保健対策の推進
 5. 医療廃棄物の適正処理への支援
 6. 心筋梗塞・脳卒中予報の発信と予防の推進
8. 医務・薬務・看護対策
 1. 後発医薬品を含めた医薬品の適切な使用推進と情報の共有
 2. 治験事業の拡充と推進
 3. 病院・診療所経営理念の健全育成
 4. 麻薬・覚醒剤の取り扱いの適正化
 5. 医療安全対策の徹底
 6. 准看護師制度存続への活動
 7. 看護師等養成施設への協力
 8. 医療秘書の養成と制度の普及
9. 広報活動
 1. 対内(会員への)広報
 - 1) 『広島県医師会速報』の充実
 - 2) ホームページの管理運営
 - 3) HMA-Net加入促進
 - 4) 勤務医、女性医師への広報充実
 2. 対外(県民等への)広報
 - 1) 救急小冊子等の発刊
 - 2) 健康啓発事業の推進
 - 3) 各種文化行事の開催
 - 4) 報道関係との連携強化
10. 情報活動
 1. 情報ネットワークの運営管理
 2. 情報データベース化の推進
 3. 基幹業務システムの運営管理
 4. 日医標準レセプトソフトの推進
 5. 個人情報保護法への対応
 6. 電子カルテ化等医療分野におけるIT化の推進と地域医療情報環境の構築
11. 国際交流関係
 1. IPPNW(核戦争防止国際医師会議)活動の推進
 2. 国際医学交流の推進
 3. 在外被爆者健診・HICARE等への参画
 4. ドクタージュノー顕彰事業の推進
12. 医療苦情相談・医事紛争対策の強化
 1. 医療苦情相談窓口事業の推進
 2. 広島県・市医療安全支援センター事業との連携
 3. 医事紛争、医療訴訟への適正な対応と広報
 4. 医師賠償責任保険、日医医賠責特約保険への加入促進
5. 医療事故、紛争防止対策の基盤強化および会員の啓発
13. 経理関係
 1. 新公益法人会計基準導入の検討
 2. 公益法人制度改革に係る公益目的事業比率、財産基準の検討
 3. 本会資産の運用
 4. 改定会費の検討
14. 会員福祉関係
 1. 保険業法改正に伴う医師共済制度の見直し
 2. 制度融資の見直しと充実(協力貯蓄等)
 3. 会員の表彰・弔慰
 4. グループ保険の普及と維持
 5. 「新規開業・医業経営のための相談窓口」および「税務相談窓口」の広報
 6. 会員親睦行事
 7. 日医医師年金への加入促進
 8. 職能型年金基金の加入促進
 9. 医師協同組合との連携強化
 10. 医療法人制度改革への対応と支援
15. 医師会館の管理運営と将来計画
 1. 医師会館の管理運営
 2. 医師会館将来計画の具体的・実務的検討
16. 医師会組織運営
 1. 公益法人制度改革への対応
 2. 定款改定の検討
17. 委員会活動
 1. 社会保障委員会
 2. 介護保険委員会
 3. 医療政策研究会議
 4. 広島県医師会定款改定特別委員会
 5. 医療事故特別委員会
 6. 労災自賠責委員会
 7. 自浄作用活性化委員会
 8. 母体保護法指定医選考委員会
 9. 母体保護法指定不服審査委員会
 10. 警察連絡委員会
 11. 生涯教育委員会
 12. 広島医学編集委員会
 13. 腫瘍登録委員会
 14. 腫瘍登録実務委員会
 15. 腫瘍登録資料利用審議委員会
 16. 地域がん登録運営委員会
 17. 腫瘍登録安全管理措置委員会
 18. 医療秘書外部委託運営委員会
 19. 共同利用施設・臨床検査精度管理委員会
 20. 感染症対策委員会

21. 広報委員会
 22. 協力貯蓄運営委員会
 23. 医師共済会運営委員会
 24. 医師共済会審査委員会
 25. 財務・福祉委員会
 26. 財務検討委員会
 27. 会費検討委員会
 28. 個人情報保護委員会
 29. 心筋梗塞予報委員会
 30. 禁煙推進委員会
 31. 情報委員会
 32. 「被爆医療関連施設」懇話会
 33. 広島医師会館検討委員会
 34. 広島医師会館管理常務委員会
 35. ひろしま治験ネット運営委員会
 36. 糖尿病対策推進会議
 37. ORCA推進協議会
 38. 公益法人制度検討委員会
 39. 在北米被爆者健診検討委員会
 40. 広島県地域医療総合支援センター(仮)検討委員会
- 18. 部会活動**
1. 勤務医部会
 2. 女性医師部会
 3. 次世代育成推進部会
 4. 学校医部会
 5. 産業医部会
 6. 有床診療所部会
 7. 救急・災害部会
 8. スポーツ医部会

第9号議案

平成22年度一般会計歳入歳出予算(案)

歳入の部

(平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日) (単位:円)

科	目	項	本年度予算額		前年度予算額		比較		備考
			当初予算額	補正予算額	当初予算額	補正予算額	増	減	
1. 会費収入		医師会費	567,700,000	578,600,000	573,600,000	578,600,000	0	10,900,000	A会員: 年19,500円、B会員: 年19,500円、C会員: 年4,000円 テニス・ソフト・ゴルフ・囲碁大会等参加費
		その他会費収入	565,500,000	565,500,000	565,500,000	565,500,000	0	0	
2. 受託事業収入		広島県受託事業収入	86,000,000	86,000,000	59,000,000	77,000,000	9,000,000	0	緊急雇用対策、小児救急電話相談、がん検診強化プロジェクト事業等 産業医研修事業、ひろしま治療ネット等
		その他受託事業収入	80,000,000	80,000,000	56,000,000	72,000,000	8,000,000	0	
3. 補助金収入		日医連絡事務費	6,000,000	6,000,000	3,000,000	5,000,000	1,000,000	0	生涯教育、勤務医活動、医師会立准看護師養成等 腫瘍登録、広島医学会総会
		日医補助金	29,050,000	29,050,000	42,470,000	42,470,000	0	13,420,000	
		広島県補助金	18,400,000	18,400,000	18,400,000	18,400,000	0	0	
4. 交付金収入		広島健康福祉センター	6,500,000	6,500,000	19,920,000	19,920,000	0	13,420,000	胃集検助成金 腫瘍登録事業 29,160,000 200,000
		放射線影響研究所	4,150,000	4,150,000	4,150,000	4,150,000	0	0	
		福祉公費負担事業協力料	17,600,000	17,600,000	51,460,000	46,960,000	0	29,360,000	
		その他交付金・助成金	16,000,000	16,000,000	16,000,000	16,000,000	0	0	
5. 寄付金収入		寄付金	29,160,000	29,160,000	29,160,000	29,160,000	0	0	労災保険情報センター、世界糖尿病ア－実行委員会
		その他寄付金	1,300,000	1,300,000	6,000,000	1,500,000	0	200,000	
6. 受取利息配当金収入		寄付金	12,500,000	12,500,000	12,500,000	12,500,000	0	0	広医、勤務医ゴルフ大会等
		受取利息配当金	100,000	100,000	1,000,000	100,000	0	0	
7. 雑収入		手数料	1,000,000	1,000,000	1,000,000	100,000	0	0	銀行預金利子 生命保険手数料、保険事務手数料、引去り手数料 広島医学掲載料 会員名簿・速報・広島医学広告料 母体保護法指定料、日医認定産業医・スポーツ医審査登録料 医師国保、医師協同組合、病院協会等 救急小冊子、有価証券利金等
		広島医学掲載料	137,150,000	137,150,000	158,600,000	122,400,000	15,200,000	450,000	
		広島医学広告料	62,000,000	62,000,000	69,200,000	62,000,000	0	0	
		指定・登録料	500,000	500,000	800,000	800,000	0	300,000	
		会館管理料	13,350,000	13,350,000	11,550,000	11,550,000	1,800,000	0	
		雑収入	4,000,000	4,000,000	4,150,000	4,150,000	0	150,000	
8. 積立金取崩収入		退職給与積立金取崩収入	43,800,000	43,800,000	60,400,000	30,400,000	13,400,000	0	60,000,000 60,000,000
		その他積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	
9. 準備金取崩収入		会館補修特別準備金取崩収入	30,000,000	30,000,000	130,000,000	139,000,000	0	109,000,000	会館補修
		その他準備金取崩収入	0	0	0	0	0	0	
10. 貸付金返済収入		貸付金返済収入	29,000,000	29,000,000	29,000,000	29,000,000	0	0	医療事故、地対協、共済会
		繰入金収入	29,000,000	29,000,000	29,000,000	29,000,000	0	0	
11. 繰入金収入		繰入金収入	10,000	10,000	10,000	10,000	0	0	0 0
		過年度収入	10,000	10,000	10,000	10,000	0	0	
12. 過年度収入		繰入金収入	325,000,000	325,000,000	120,000,000	432,398,921	0	107,398,921	0 107,398,921
		過年度収入	325,000,000	325,000,000	120,000,000	432,398,921	0	107,398,921	
13. 繰越金		繰越金	1,234,110,000	1,234,110,000	1,237,640,000	1,540,438,921	24,200,000	330,528,921	0 330,528,921
		繰越金	0	0	0	0	0	0	
合		計	1,234,110,000	1,234,110,000	1,237,640,000	1,540,438,921	24,200,000	330,528,921	

歳出の部

科	款	目	項	本年度予算額	前年度予算額		比		較	備	考
					当初予算額	補正予算額	増	減			
1. 事務費				247,200,000	262,400,000	249,800,000	400,000	3,000,000	職員31人		
				105,600,000	105,600,000	0	0	〃			
				55,000,000	62,700,000	55,000,000	0	派遣社員1人			
				3,000,000	6,000,000	3,000,000	0	職員社会保険料、労働保険料			
				23,000,000	23,000,000	0	0	職員福利厚生			
				1,000,000	1,000,000	0	0	職員新人研修等			
				400,000	400,000	0	0	弁護士、税理士、社労士			
				2,600,000	2,200,000	400,000	0	日医、中国四国医師会連合等			
				15,000,000	15,000,000	0	0	タクシー代等			
				7,200,000	7,200,000	0	0	電話料、郵便切手代、運送料等			
				6,600,000	6,600,000	0	0	コピー代、事務用品代等			
				10,000,000	10,000,000	0	0	封筒、名刺、領収証等印刷費			
				1,000,000	2,000,000	1,000,000	0	新聞、書籍代			
				1,000,000	2,500,000	1,000,000	0	0			
				0	0	0	0	0			
				3,000,000	3,000,000	5,000,000	0	2,000,000			
				3,800,000	3,800,000	0	0	振込手数料、会費引去業務			
9,000,000	11,400,000	9,000,000	0	0	ファクシミリ、パソコン、サーバ、プリンタリース料等						
2. 交際費				10,000,000	10,000,000	0	0	0			
				7,000,000	7,000,000	0	0	0			
3. 会議費				61,610,000	51,710,000	59,810,000	3,300,000	1,500,000			
				11,000,000	12,500,000	0	1,500,000	定例1回、臨時1回			
				32,600,000	22,300,000	31,800,000	800,000	0			全理事会、理事会、常任理事会、合同理事会
				10,000	10,000	0	0	総会			
				500,000	400,000	500,000	0	0			監事会
				16,500,000	15,000,000	14,000,000	2,500,000	0			各種委員会
1,000,000	1,500,000	1,000,000	0	0	四師会等						

科 款	目 項	本年度予算額		前年度予算額		比較		備 考
		当初予算額	補正予算額	当初予算額	補正予算額	増	減	
4. 事業費	(1) 学術研究補習教育費	369,050,000	391,350,000	365,250,000	45,400,000	23,100,000	0	医学会総会、生涯教育、学会補助金等
	(2) 広島医学発行費	18,900,000	19,000,000	20,000,000	100,000	0	0	印刷費、送料、編集委員会等
	(3) 社会保障関係費	26,000,000	26,000,000	30,000,000	0	0	0	社保・介護保険関係、労災自賠責関係等
	(4) 公衆衛生事業推進費	23,000,000	29,000,000	30,000,000	6,000,000	0	0	子育て応援団、感染症対策、市郡地区協議会、禁煙関係
	(5) 医務対策費	12,400,000	11,700,000	9,700,000	700,000	0	0	准看護師養成施設補助、保健医療従事者対策、業務対策
	(6) 学院運営費	2,700,000	0	2,700,000	0	0	0	全国医療秘書学院連絡協議会負担金、学院講師会等
	(7) 広報活動費	1,050,000	0	1,050,000	0	0	0	広報委員会、救急小冊子、医家芸術展等
	(8) 速報発行費	14,400,000	2,400,000	12,000,000	0	0	0	速報印刷代、送料
	(9) 部会費	64,000,000	64,000,000	57,700,000	0	0	0	勤務医、学校医、産業医、救急災害、有床診、女性医師、次世代育成
	(10) 調査研究費	35,100,000	0	65,400,000	0	0	0	
	(11) 福祉事業費	0	0	2,000,000	0	0	0	
	(12) 表彰費	33,000,000	13,000,000	10,300,000	20,000,000	0	0	点数改正関連書籍、テニス・ソフトボール・囲碁大会、米寿喜寿祝品、財務福祉委員会等
	(13) 地域医療推進費	3,000,000	3,000,000	4,000,000	0	0	0	香典、生花代、永年勤続記念品等
	(14) 情報処理費	9,800,000	10,300,000	8,300,000	500,000	0	0	特定健診・特定保健指導関連、臨床検査精度管理等
	(15) 医政対策費	17,200,000	0	17,200,000	0	0	0	基幹システム、パソコン、ネットワーク関係
	(16) 国際医学交流費	13,000,000	13,000,000	15,000,000	0	0	0	新年互礼会、21世紀県民フォーラム、医療行政懇談会等
	(17) ひろしま治験ネット事業費	12,500,000	18,000,000	12,500,000	5,500,000	0	0	IPPNW・HICARE関係、ジュノー記念祭等
	(18) 委託事業費	3,000,000	3,000,000	2,000,000	0	0	0	ひろしま治験ネット事業運営
5. 補助金	(1) 看護学院補助金	80,000,000	83,000,000	65,400,000	3,000,000	0	0	緊急雇用対策、地域がん登録、小児救急電話相談、がん検診プロジェクト等
	(2) 圏域地対協補助金	16,840,000	16,840,000	10,340,000	0	0	0	13施設
6. 負担金	(1) 中四国医連負担金	13,840,000	13,840,000	7,340,000	0	0	0	9地区地対協
	(2) 中四国医連学会負担金	3,000,000	0	3,000,000	0	0	0	
	(3) 地域保健対策協議会拠出金	47,500,000	0	75,940,000	1,100,000	0	0	@800円×会員数+均等割200,000円
	(4) 腫瘍登録委員会負担金	4,500,000	0	3,400,000	0	0	0	地対協
	(5) 福祉公費負担制度協力料	10,000,000	0	1,100,000	0	0	0	県医師会、放影研、広島県
		33,000,000	33,000,000	28,440,000	0	0	0	

科 款	目 項	本年度予算額	前年度予算額		比		備 考
			当初予算額	補正予算額	増	減	
7. 会館管理運営費	(1) 運 営 費	38,600,000	39,600,000	38,600,000	0	0	給与、消耗品、会議費 上下水道、光熱費、営繕費 清掃、廃棄物、ビル衛生管理、警備 エレベーター、音響設備 駐車場
	(2) 管 理 費	1,700,000	2,700,000	1,700,000	0	0	
	(3) 委 託 料	15,000,000	15,000,000		0	0	
	(4) 保 守 料	700,000	700,000		0	0	
	(5) 土 地 借 上 料	7,600,000	7,600,000		0	0	
8. 保守営繕費	(1) 保 守 営 繕 費	1,000,000	2,500,000	1,000,000	0	0	ファクシミリ、構内電話交換機等
9. 損害保険料	(1) 損 害 保 險 料	300,000	300,000		0	0	自動車・火災・個人情報漏えい保険等
	(1) 公 租 公 課	12,000,000	10,000,000	12,000,000	0	0	法人税、消費税、固定資産税等
11. 積立金繰入	(1) 退職給与積立金繰入	0	10,000,000	0	0	0	
12. 準備金繰入	(1) 会館補修特別準備金繰入	60,000,000	50,000,000	60,000,000	0	0	
	(2) 会館建設準備金繰入	100,000,000	100,000,000		0	0	
13. 貸付金支出	(1) 貸 付 金 支 出	0	0		0	0	
14. 積立金使用額	(1) 退職給与積立金使用額	0	60,000,000		0	60,000,000	職員退職金
	(1) 会館補修特別準備金使用額	30,000,000	130,000,000	139,000,000	0	109,000,000	会館補修
16. 寄付金	(1) 寄 付 金	0	0	0	0	0	
17. 雑費	(1) 雑 費	1,000,000	1,000,000		0	0	
	(1) 予 備 費	239,010,000	58,600,000	324,798,921	0	85,788,921	
18. 予備費	(1) 予 備 費	239,010,000	58,600,000	324,798,921	0	85,788,921	
合 計		1,234,110,000	1,237,640,000	1,540,438,921	27,900,000	334,228,921	

第10号議案

平成22年度医療事故特別会計収支予算 (案)

収入の部 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位:円)

科 款	目 項	本年度予算額	前年度予算額		比較		備 考
			当初予算額	補正予算額	増	減	
1. 会 費	(1) 会 費	148,000,000	148,000,000		0	0	
2. 受取利息配当金	(1) 受取利息配当金	3,000,000	3,000,000		0	0	月額2,000円
3. 手数料	(1) 医賠償保険手数料	13,000,000	13,000,000		0	0	預金利子
4. 雑 収 入	(1) 雑 収 入	13,000,000	13,000,000		0	0	100万円保険、法人保険、日医特約保険等
6. 繰 越 金	(1) 前年度繰越金	200,000,000	100,000,000	200,932,436	0	932,436	有価証券利金、争訟費用戻入等
合 計		377,000,000	277,000,000	377,932,436	0	932,436	

支出の部

科 款	目 項	本年度予算額	前年度予算額		較		備 考
			当初予算額	補正予算額	増	減	
1. 事務費	(1) 印刷製本費	32,750,000	42,750,000	32,750,000	0	0	医賠責保険加入証、封筒印刷
	(2) 通信搬送費	800,000	800,000		0	0	送料、通信料
	(3) 旅交通費	1,000,000	1,000,000		0	0	出張旅費等
	(4) 消耗品費	7,000,000	7,000,000		0	0	レントゲンフィルム、文具
	(5) 図書費	800,000	800,000		0	0	書籍代
	(6) 図書費	150,000	150,000		0	0	県医師会事務費
	(7) 繰入金	20,000,000	20,000,000		0	0	サーバ・パソコン・複合機更新料、リース料等
2. 会議費	(7) 借上料	3,000,000	13,000,000	3,000,000	0	0	
	(1) 委員会費	16,600,000	19,300,000	16,600,000	0	0	合同委員会、専門委員会
	(2) 保険審議会費	12,000,000	14,700,000	12,000,000	0	0	保険審議会
3. 顧問料	(3) 連絡会費	4,000,000	4,000,000		0	0	市郡地区連絡協議会
	(1) 顧問料	4,000,000	4,000,000		0	0	弁護士2名
4. 調査費	(1) 調査費	10,000,000	12,500,000	10,000,000	0	0	
	(1) 調査費	10,000,000	12,500,000	10,000,000	0	0	調査コピー代、鑑定料、争訟費用、人材派遣費等
5. 処理費	(1) 処理費	50,000,000	70,000,000	5,000,000	45,000,000	0	
	(1) 処理費	50,000,000	70,000,000	5,000,000	45,000,000	0	紛争処理費用補助
6. 広報費	(1) 広報費	500,000	500,000		0	0	
	(1) 広報費	500,000	500,000		0	0	
7. 什器備品費	(1) 什器備品費	300,000	300,000		0	0	
	(1) 什器備品費	300,000	300,000		0	0	
8. 保険料	(1) 医賠責保険料	38,000,000	38,000,000		0	0	100万円保険 @6,016円/年
	(1) 医賠責保険料	38,000,000	38,000,000		0	0	
9. 積立金繰入	(1) 臨時処理積立金繰入	70,000,000	70,000,000		0	0	平成22年度積立金
	(1) 臨時処理積立金繰入	70,000,000	70,000,000		0	0	
10. 雑費	(1) 雑費	500,000	500,000		0	0	
	(1) 雑費	500,000	500,000		0	0	振込手数料等
11. 予備費	(1) 予備費	154,350,000	19,150,000	200,282,436	0	45,932,436	
	(1) 予備費	154,350,000	19,150,000	200,282,436	0	45,932,436	
合計		377,000,000	277,000,000	377,932,436	45,000,000	45,932,436	